

国際親善総合病院
病院だより

NO. 251
Summer
 2017.7



1人目の赤ちゃんが誕生しました！ …… 2	看護部紹介 …… 8
ヘルプマークを知っていますか？ …… 2	親善病院の部活紹介 …… 9
今秋オープン予定しんぜんクリニック …… 3	皆さまからの声 …… 9
接遇研修を開催しました！ …… 3	あなたの街のお医者さん …… 10
特集 腎臓・高血圧内科 …… 4	管理栄養士のメディカルレシピ …… 10
夏の病気を医師が解説！ …… 6	病院のできごと&Information …… 11
新人診療放射線技師に密着 …… 8	れんけいニュース …… 12

病院の理念
 良質な医療の実施
 親切な医療の実施
 信頼される医療の実施

紫外線に気をつけましょう

紫外線の強い季節に入っています。皆さんは1年のうちいつが一番紫外線が強い時期と思いますか？

梅雨が明けて真夏の日差しとなる8月が一番強いと思われがちですが、実は7月または5月が強烈な紫外線が降り注ぐ時期なのです。従ってその前後を含めて4月から8月までが紫外線注意報の季節なのです。紫外線はシミ・しわなどの光老化の原因となる他、自分の体を守る免疫機能を低下させたり、細胞内のDNAを傷つけて皮膚がんを発生させたりします。

紫外線から皮膚を守るためには、①紫外線の強い時間帯（午前10時～午後3時位）の外出を控える、②日傘やつばの大きい帽子を着用する、③顔を隠したり長袖を着用する、④日焼け止めクリームを頻回に使用する、……などを心がけましょう。本誌6ページにも詳しく掲載していますので、ぜひご覧ください。



1人目の赤ちゃんが産まれました

天使のような寝顔にみんな自然と笑顔になりました。元気に育ってくださることをスタッフ一同、心より祈ります。



平成29年4月18日19時29分、国際親善総合病院にて、約2年8カ月ぶりに産声が上がりました。第二子となる女の子をご出産されたお母さま。本当におめでとございます。

当院産科への期待を実感しています。安心安全な分娩を第一に、顔の見える関係での妊娠、出産をと考えています。ご出産いただいた皆さま、おめでとうございます。

産婦人科部長 多田 聖郎



産科セミオープンシステムのご案内

妊婦さんの希望により、セミオープンシステムをご利用いただけます。その場合、当院への通院は妊娠初期に1~2回、24週頃に1回、34週以降は毎回となります。合併症の状況などによりご希望に添えない場合がありますので、医師にご相談ください。

◆セミオープンシステムとは

妊婦健診は近くのクリニックで受け、分娩は病院で行うことにより、妊婦さんへの負担も少なく、それぞれの医療機関の特性を生かした医療の提供が可能となります。

出産後の貴重なお時間をいただき、取材（写真撮影）のご協力ありがとうございました。

ヘルプマークを知っていますか？

援助が必要な方のためのマークです。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。



●電車・バスの中で

席をお譲り下さい。

●駅や商業施設等で、

声をかけるなどの

配慮をお願いします。

●災害時は、安全に避難

するための支援を

お願いします。

このマークの配布場所等の詳細については
障害福祉課ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/div/1309/>
をご覧ください。

(問合せ先) 神奈川県保健福祉局福祉部障害福祉課
電話：045-210-4709 FAX：045-201-2051

今秋
オープン
予定!

国際親善総合病院のサテライトクリニックが
弥生台駅前にオープンいたします



弥生台駅前再開発の様子 (2017.6)

しんぜん クリニック

弥生台駅前の再開発が進んでいます。商業施設の建て替えが今秋に完了する予定ですが、この建物の最も駅寄りの棟に、国際親善総合病院のサテライトクリニック「しんぜんクリニック」が入居します。

1階はリハビリテーション施設となり、医療と介護に対応、介護では通所リハビリテーションを実施します。2階がクリニックとなり、複数の診療科が入ります。国際親善総合病院と密に連携をとり診療を行います。

また来春にはクリニックに併設して病児保育室をオープンする予定です。

地域の皆さまがより安心して暮らしていけるようスタッフ一同誠心誠意努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【しんぜんクリニック概要】

施設・診療科 (予定)

- 1階 リハビリテーション室
- 2階 内科、内分泌内科、小児科、整形外科、眼科、皮膚科
泌尿器科、病児保育室

診療時間 (予定)

平日	午前9:00~12:30	午後2:00~6:00
土曜日	午前9:00~12:30	
日曜・祝日	休診	



たくさんの笑顔であふれました!

ディズニーから学ぶ接遇研修

5月31日(水)に、接遇研修を開催いたしました。
接遇向上委員会&Peace代表 石坂秀己氏(元東京ディズニーランドアトラクション責任者)を講師にお招きし、接客の考え方についてお話しいただき、笑顔のあふれる研修となりました。
東京ディズニーリゾートではゲストもキャストも全ての人々が笑顔でいるため、自然に笑顔の循環が生まれ、「夢の国」として特別な雰囲気が出てきていることに感銘を受けると同時に、考えさせられることも多くありました。
改めて、当院でも患者さん1人1人の心に寄り添い、医療サービスを提供していくことを参加者全員が再確認しました。



Nephrology

腎臓・高血圧 内科



腎臓・高血圧内科部長
酒井 政 司
さか い まさ し

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医／日本腎臓学会専門医・指導医／日本透析医学会専門医・指導医／日本高血圧学会専門医・指導医／日本プライマリケア連合学会認定医・指導医／インфекションコントロールドクター（I・C・D）／身体障害者福祉法指定医／横浜市立大学医学部講師（非常勤）

略 歴



神奈川県立湘南高等学校 卒業
東北大学医学部 卒業
横浜市立大学循環器・腎臓内科（旧第2内科）助教
藤沢市民病院腎臓科主任医師を経て
平成22年 国際親善総合病院腎臓・高血圧内科部長

してしまっているという特徴があります。そのため、学校や職場での検診、あるいは普段皆さまがおかかりのクリニックでの定期検査の際に初めて腎臓病に気づかれることが多いと思われます。

当院では、皆さまが普段おかけの先生方との連携を日頃より深めており、腎臓病が疑われた場合には、スムーズに当院をご紹介して頂き、専門的な治療を受けて頂ける体制を整えております。

ご紹介いただいた際には、詳細な病歴聴取、腎臓病の状態把握、そして今後の治療方針などを立案し、皆さま、そしてかかりつけの先生方と一緒に、その腎臓病の進行を抑制できるよう最大限のサポートをさせていただきます。

はじめに

国際親善総合病院腎臓・高血圧内科では、高齢社会とともに増加している慢性腎臓病（CKD）や急性腎障害（AKI）、ならびに難治性高血圧症や二次性高血圧症を中心とした高血圧の

精査・診療を行っております。

最近の研究によりますと、糖尿病患者さんのおよそ1/3がアルブミン尿陽性という腎障害を合併しており、また65歳以上の人口のおよそ1/3が腎機能が60%以下に低下し透析導入に至る危険性があると報告され

腎代替療法について

不幸にして腎機能が廃絶し末期状態となった際の治療法としては、①腎移植、②血液透析、③腹膜透析、④透析非導入（緩和医療）の4つがあります。その中でも、最も多くの患者さん

に広く浸透しているのは透析治療になります。

幸いなことに、透析療法において日本は世界でもトップクラスの良好な治療成績を有しています。血液透析、腹膜透析それぞれに特徴がありますが、当院ではそれぞれの治療に十分な診療経験がありますので、患者さんのライフスタイルに合った治療法をご提案させていただきます。その際に最も大切にしていることは「その医療行為は本当に患者さんの幸せにつながっているだろうか」という視点です。当院では、医師だけでなく看護師、薬剤師、臨床工学技士、リハビリ職員、管理栄養師、医療ソーシャルワーカーなど様々な職種からなるチーム医療を行っており、それぞれの専



透析室カンファレンスの様子

門的視点から患者さんについての情報を集約し、より良いと思われる治療法を協議してまいります。

最後に

「生活習慣の改善」という取り組みはなかなか難しい課題と言われています。高価な医療機器がもてはやされる昨今において、生活習慣病対策の「三種の神器」と言われる「体重計、家庭血圧計、歩数計」はいずれも安価な健康機器であり、それぞれのご家庭で容易に手に入れることができます。

「未病（疾病予防）」、そして最近注目されている「健康寿命の延伸」のためには、自らが健康意識を高め、主体的に生活習慣の改善に取り組んでいくこと



透析センタースタッフ

が大切であり、その中で当院が少しでも皆さまのお役に立つことができたら幸いです。

この国際親善総合病院が、地域の皆さまから安心し信頼される病院となれますよう一丸となって頑張っていきたいと思っております。

紫外線「UVA」

「シミ」「しわ」の治療

1 紫外線とは

太陽からの光線は、波長の長い方から赤外線、可視光線、紫外線となります。紫外線(Ultra violet: UV)はさらに波長の長い方から長波長紫外線(UVA)、中波長紫外線(U

	UV-A	UV-B
特徴	・肌の奥(真皮)まで深く到達しじわじわと肌に影響を与える ・シミ、しわの原因になる	・比較的長い時間日光を浴びることで肌に影響を与える ・シミの原因になる
症状	肌が黒くなる	肌が赤くなる、やけど、皮膚がん
防御方	ガラスを通過するため室内でも日焼け止めを塗る、直射日光に当たらないなど	外出時に日焼け止めを塗る、日傘などで直射日光を避ける

V-B)、短波長紫外線(UV-C)に分類されます。太陽光線のUV-Cは地球のオゾン層で吸収されるために、地表には届きません。私たちが浴びている紫外線はUVAとUV-Bの2種類となります。

2 治療法

①シミの治療方法 ロングパルスアキシサンドライトレーザー照射、ピタミンCローション(化粧水)、ハイドロキノン軟膏トレチノインクリーム、アスタキサンチン美容液などの外用剤とピタミンCの内服で治療をします。100%とまではいきませんが、かなりの効果が期待できます。

②しわの治療方法 浅いしわについては、ピタミンCローション、トレチノインクリームで治療します。深めのしわは外用療法では限界がありますので、ボトックスやヒアルロン酸の注射治療となります。

(注射での治療は当院では行っていないため、クリニックを紹介いたします)
※右記治療法は内服薬を除き自費診療となりますので予めご了承ください。

熱中症かも!と思ったら

不安なときの相談窓口を知っていますか??

1 熱中症とは

熱中症は、誰でもなりえる病気です。熱中症で病院を受診する人は毎年40万人前後とされ、その約10%が入院し、およそ600人の方が亡くなっています。熱中症を完全に予防することは困難です。そこで少しでも症状を軽くするため、早期発見・早期対応が重要となります。

2 熱中症の種類

熱中症は2つのタイプがあります。若年者や壮年者がスポーツや労働でかかる「労作性」と、高齢の方や持病や障害のある方、独居の方が屋内でかかる「非労作性」があり、最近では後者が社会問題化しています。屋内で過酷にしている方も気付かぬ

主な症状	重症度
めまい、ふらつき、立ちくらみ	低
足のこむら返り、手足のしびれ	
頭痛、吐気、脱力感、尿が減り紅茶色	
呼びかけても反応がにぶい、意識障害	高

重症度が高くなる前に水分や塩分を補給し涼しい場所へ移動しましょう。



うちに熱中症が徐々に進んで倒れてしまうケースが多いのです。原因として、薬の影響(たとえば心臓が悪くて利尿剤を飲んでいたり脱水になりやすい)、エアコンをつけない、窓を閉め切るなど、普段の生活から様々な要因が絡んでいます。

横浜市救急医療相談センター

7 1 1 9

(携帯電話・PHS・プッシュ回線)

または 045-222-7119

(すべての電話から利用可能)

夏に増える尿管結石

水分とカルシウムの補給を!

1 尿管結石とは

腎臓で形成された結石が尿の流れに乗って尿管に落ちた時につまることで発症し、急に痛みや発熱と血尿が起こる病気です。この尿管結石は、尿が濃縮する夏場に多く形成され、成長することが知られています。

2 尿管結石の予防法

①水分補給 一度結石を患ったことがある方は、1日2Lを目安に水分補給することをお勧めしています。水分といっても、砂糖が入ったコーヒー・紅茶やビールなどは摂取しすぎると、糖分・プリン体などが過剰となり、かえって結石ができやすくなる要因にもなるので注意が必要です。



3 まとめ

尿路結石を予防する食生活は、生活習慣病全体の予防とつながっています。適切な食事・水分を摂取して、結石で困らないように気を付けましょう。

②カルシウム摂取

カルシウムは代表的な尿管結石の成分ですが、実はしっかりと摂取することが結石の予防になります。カルシウムが結石の原因と誤解し、摂取を制限する方もいますが、実は同じく結石の原因となるシュウ酸を吸着して便に排泄することで尿管結石の形成を防止する役割があるのです。



③アルカリ性食品の摂取

尿をアルカリ化する野菜や海藻、果物類は尿管結石の原因となる尿酸を体外に排出しやすくなり、結石の予防となります。



それでも結石を患うことがあれば、泌尿器科にご相談ください。経過観察・薬物治療・体外衝撃波治療・レーザー内視鏡手術など、状態に応じて対応いたします。

3 自身で判断できない場合の相談窓口

横浜市救急医療相談センターでは、24時間年中無休で専属看護師に急な病気やけがでの受診の相談ができます。さらに、状況に応じて電話を消防局に転送してくれます。ただし、ご自身で「これはマズイ」と感じたら迷わずに119番に電話し救急車を呼びましょう。



★119番に電話し救急車を呼ぶ場合、何区・何町・何番地・建物名・近所のことなど詳しく聞かれるため、普段からメモしておくことで慌てず答えられます。

★救急車で病院に行く場合、左記の3つを持っていきましょう。

- ①健康保険証
- ②お薬手帳(飲んでいる薬)
- ③ご家族の連絡先(家を離れると分からなくなることが多い)

熱中症に限らず、いつ救急車のお世話になるかわかりません。右記3つは普段から置き場所を決めてわかるようにしておきましょう。

熱中症にならないためにも普段の生活を見直し、この夏も元気にお過ごしください。

新人 診療放射線技師に密着!!

これから一人前の診療放射線技師になるため研修中の糟谷さんに密着しました!

がんばります!



4月3日に行われた入職式では少し緊張気味でしたが、晴れて国際親善総合病院の職員となりました。これから実際に患者さんと直接かかわる診療放射線技師としての業務が始まります。



午前中は一般撮影を行います。胸腹部の撮影は1人でもできるようにりましたが、難しいのが整形領域の一般撮影。撮影したい骨の位置など、指導してもらいながら日々撮影しています。

糟谷 見空 Miku Kasuya

どんな仕事にも全力で笑顔で大切に取組んでいきたいと思っています!!



CT・MRIの勉強もしています。扱えるようになるのはまだ先ですが、専門的な医学知識が必要になるため、日頃から学ぶようにしています。今後は勉強会やセミナーなどにも積極的に参加していきます。

診療放射線技師とは?

診療放射線技師は人体への放射線照射を行うことのできる専門職です。主に病院などの医療機関においてX線撮影、X線透視、CT検査、マンモグラフィ、MRI検査、血管造影などの装置を扱い、画像診断における情報の提供を行います。診療放射線技師が提供する検査画像は、病気の診断や治療方針を決定するための重要な情報となるため、診断の根拠となる質の高い画像情報を提供し、読影の補助をすることも必要であり、チーム医療の一員として重要な役割を担っています。また、地域や時間を問わず実施される救急診療においては、安定して最適な画像情報を構築し、かつ安全性を確保するための知識と技術が必要となります。当院には13名の診療放射線技師が在籍しており、これらを維持するため日々努力しています。



入院中の患者さんのところには出張して撮影を行っています。ポータブル撮影装置を使って、主に胸腹部の撮影を行います。病室で撮影するため緊張される方も多いですが、笑顔で声掛けをし、リラックスした状態で撮影できるよう心がけています。



その日に撮影した画像を確認し、細かい角度調整や撮影時の反省点など、指導者とともに再確認をしながら振り返りを行っています。立派な診療放射線技師を目指して、これからも努力していきます!

指導者からのコメント

入職してから3ヶ月が経ち、職場の雰囲気にも慣れ仕事にも全力で取り組む姿勢に私たちも刺激を受けています。覚えることはたくさんありますが持ち前の笑顔と明るさで、これからも頑張ってください。今後の活躍を期待しています。

放射線画像科 栗田 仁志



先輩からのコメント

今年は覚えることがとても多くあると思いますが、困ったことがあれば微力ですが力になるので、一緒にがんばりましょう!

放射線画像科 古見 沙織



皆さまからの声

いただいたご意見の一部をご紹介します。

エレベーターを利用したら、ベッドを運んでいたスタッフの方に感じ悪く言われてしまった。足が悪いので使わせてほしい。(女性・お見舞い)

この度は、不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。どなたにも優しい気持ちで対応ができるよう職員教育を定期的に行い対応いたします。

久しぶりに来院したら院内の様子が変わり、受付に迷ってしまった。分かりやすい標示が欲しい。(男性・外来受診)

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。院内の再整備につき、外来の配置を変えながら工事を行っています。工事中の案内にはできるかぎり分かりやすい表示を心掛けておりますが、何かお困りのことがございましたらお気軽に近くのスタッフへお声掛けください。

親善病院の部活動紹介①

登山部

通称「山登り隊!」



2年前に発足した登山部は1年に2回、春と秋に活動しています。山登り隊の隊長である2名の医師を筆頭に、毎回約20名以上が参加し、過去には箱根の金時山や丹沢の大山、ユースン溪谷などに行きました。

新たなナースが仲間入り!

私たち新人看護職員です! よろしくお願ひします!

今年度は30名の看護師が仲間入りしました。入職後は、三浦での宿泊研修、院内の他部門(薬剤部・放射線画像科・臨床検査科など)で研修を行い、病院の機能を学びました。また、当法人施設の恒春の郷やしんぜん訪問センターでは、退院後の生活の様子を聞くことができ、入院中の看護の重要性を知ることが出来ました。これから一人前の助産師・看護師になれるよう精一杯努力してまいります!



看護フェスティバル Festival

日時: 平成29年6月8日(木) 9:30~13:00
会場: 国際親善総合病院 1階外来フロア



日本看護協会看護週間の行事として、毎年恒例となっている看護フェスティバルを開催しました。今回は205名の方々にご参加いただき、「血糖値や体脂肪の数値が参考になった」、「食事について栄養士の方に相談できて良かった」など、嬉しいお言葉をいただきました。

病院のできごと 4月~6月



5月30日(火) 横浜市中川地区センターにて
第18回しんぜん院外健康教室

今回は90名の参加をいただき、脳卒中をテーマに医師、理学療法士、管理栄養士のそれぞれの分野から予防対策などを紹介してまいりました。「健康情報はテレビや雑誌などで知る機会が多いですが、講演会で直接お話を聞くと分かりやすいです」「今度は認知症予防についての話を聞きたい」などご意見ご感想をいただき、大盛況に終わりました。



4月3日(月) 新入職員を迎えました！
入 職 式

今年は87名の新入職員を迎え入職式が行われました。例年よりも多い人数の採用で現職員の刺激にもなり、今後も地域の中核病院としてさらに皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。



6月5日(月) いざというときに
泉区応急処置講習会

毎年看護週間行事に合わせて横浜市泉区福祉保健センターとの共催で泉区の保健活動員の方々を対象に応急処置講習を行い、今年で17年目を迎えます。参加者は真剣な表情に加えて時折笑顔も見せながら実施していました。



あなたの街のお医者さん



いずみ野駅から徒歩2分の所に在る木下整形外科です。当院は1978年に開業し、2007年にリニューアル致しました。開院以来、地域の皆様に信頼して頂けるクリニックを目指し診療を行ってまいりました。当院では、患者様が話や相談をしやすいように心掛けながら診療を行っています。国際親善総合病院など、地域の中核病院とも連携を取らせて頂いています。今後も患者様の健康維持の為、地域医療の貢献に努めていきたいと考えています。

相鉄いずみ野線
いずみ野駅北口
徒歩2分

☑整形外科

木下整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:30	○	○	—	—	○	○	—
15:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—

木下整形外科
〒245-0016 横浜市泉区和泉町6216-14
TEL:045-804-3260
ホームページ
<http://www.kinoshita-seikei.com/>



INFORMATION () () () ()
国際親善総合病院よりお知らせ

健康懇話会 | 会場/国際親善総合病院 新棟2階講堂
時間/15:00~

7/14(金) 見た目年齢が若返る？
紫外線対策と治療について
皮膚科部長 山田 裕道

8月 休 会

9/9(金) COPD(タバコ肺)と
当院における呼吸リハビリテーション
呼吸器内科部長 中田 裕介

しんぜん院外健康教室 | 時間/10:00~

10/13(金) 決まり次第お知らせいたします
循環器内科部長 有馬 瑞浩
会場: 横浜市中川地区センター

毎週木曜日はパンの日

第1 木曜日 社会福祉法人 開く会 共働舎
7/6(木) 8/3(木) 9/7(木)

第2 木曜日 特定非営利活動法人 ジョイカンパニー 特定非営利活動法人 ぶどうの樹
7/13(木) 8/10(木) 8/31(木) 9/14(木)

第3 木曜日 特定非営利活動法人 わいわいクラブ
7/20(木) 8/17(木) 9/21(木)

第4 木曜日 社会福祉法人 びぐれっと
7/27(木) 8/24(木) 9/28(木)

社会福祉法人 開く会 共働舎
横浜市泉区中田西1-11-2 TEL:045-802-9955

特定非営利活動法人 ジョイカンパニー
横浜市泉区中田南3-24-9 TEL:045-805-6624

特定非営利活動法人 ぶどうの樹
横浜市泉区和泉町4604-5 TEL:045-801-1090

特定非営利活動法人 わいわいクラブ
横浜市泉区岡津町2147-4 TEL:045-811-8989

社会福祉法人 びぐれっと
横浜市泉区新橋町960-4 TEL:045-442-8818

場所/本館1階 外来
時間/11:00~
売切れ次第終了

管理栄養士のメディカル

Recipe No. 12 作り方

- ① うろこや内臓を取り除いた小アジはクッキングペーパーでよく水気をきる。
- ② ①の両面に小麦粉をまぶし、余分な粉は払い落しておく。
- ③ 揚げ油を入れたフライパンにアジを入れ中火で揚げる。
- ④ カラっとなるまでじっくり揚げたら油をきりマリネ酢につける。
- ⑤ お皿にアジを並べ、細切りにした玉葱と人参、ブロッコリースプラウトを添える。

暑い日もオススメ!メニュー
小アジのマリネ

栄養価(1人前)
エネルギー 175kcal
蛋白質 13.2g
脂質 8.1g
塩分 1.1g

材 料(1人前)
★小アジ=3匹(60g) ★小麦粉=適量
★揚げ油=適量 ★玉葱=30g
★人参=10g ★ブロッコリースプラウト=適量
(マリネ)
★酢=50g ★醤油=5g ★砂糖=4g ★塩=0.2g



たまねぎ特有の辛み、切った時に涙の原因となる成分は抗血栓作用、血圧降下作用、血糖低下の機能があり、血液をサラサラにしてくれます。魚にはEPAやDHAが多く含まれているため動脈硬化の改善作用もあります。

アジをじっくり揚げ、酢につけたら骨まで全部食べられるのでカルシウムも摂れます。食欲の無い日もさっぱりとしたマリネで暑い夏を乗り越えましょう。



管理栄養士 大西 美菜子

れんけい ニュース

RENKEI NEWS

No.1



平成29年4月より地域医療連携部部長として副院長 飯田秀夫が就任いたしました。

新たに配属された職員も加え、心機一転皆さまへの医療サービスをより充実できるよう一丸となってスタートしました。

当院は、急性期の良質な医療提供をすること、退院後の療養生活までを見据えて包括的に支援することが大切な使命です。患者さんやご家族の方が安全で安心な医療を受けられる架け橋となるよう研鑽してまいります。



副院長
地域医療連携部部長
脳神経外科部長
飯田 秀夫

日頃より当院の医療連携にご協力いただき感謝しております。今後もさらに患者さん本位のスムーズな医療サービスを行うことを基本方針に取り組んでまいります。

地域医療連携部紹介

地域医療連携部は、「地域医療連携室」と「入退院支援室」の二つの部門があり、医師1名、看護師4名、社会福祉士（ソーシャルワーカー）4名、事務員5名が配属されています。

地域医療連携室は、主に地域の医療機関との連絡窓口となり、患者さんの紹介受け入れや地域機関への逆紹介の取次などを行い、それに伴う情報の提供や患者さんへの各種ご案内もさせていただいております。

入退院支援室は、患者さんへ入院中の療養生活だけでなく、退院後の生活も考えながら患者さんとご家族の方の支援をしております。退院後全



地域医療連携部スタッフ

般のご相談をお受けしつつ、自宅での生活の準備や回復期

療養施設への受け入れ調整等も行っております。また、院内のベッドコントロールを行い、入院が必要な患者さんを一人でも多く受け入れられるように各病棟との調整業務も担っています。

地域医療連携部は、病院正面玄関を入ってすぐ左にあります。地域のかかりつけ医や病院のご紹介、療養生活全般のことなどお気軽にご相談ください。

地域医療連携部 自己紹介リレー



地域医療連携室室長
大石 薫

岐阜県飛騨市の山奥で育ち、褒められると木に登っちゃいます。地域の皆さまのため尽力してまいります。

次回は
医療ソーシャルワーカーの
三浦侑希子さんです！

